

# 介護・福祉ネットみやぎ速報

発行者 NPO 法人介護・福祉サービス非営利団体ネットワークみやぎ  
責任者 渡辺 淳子

☎ 022-276-5202 022-276-5205 📠

## ●みやぎ県民フォーラム実行委員会では、宮城県知事及び仙台市長宛の『補足給付見直しの影響調査・介護保険制度の抜本見直しを求める要望書』提出に関して、宮城県(4月26日)及び仙台市(4月12日)の担当部局との懇談会を開催しました。

介護・福祉ネットみやぎでは、関係団体と共に「みんなで考えよう介護保険！みやぎ県民フォーラム実行委員会」を結成し、フォーラムの開催や各方面への要請活動に取り組んでいます。

2年以上にわたる新型コロナウイルス感染は、オミクロン株の出現により、これまで以上の感染の広がりを見せています。介護現場では、感染のリスクの軽減に持てる力を振り絞って利用者とその家族を守るために奮闘しています。リスクが高い高齢者施設のクラスター対策には引き続き力を入れて取り組む必要があります。感染拡大期にあっても国民の生活を下支えする重要な社会的インフラへの継続的な支援が求められます。

また、新型コロナ禍で、社会的弱者といわれる層の困窮が一気に加速し深刻です。その中で引き続き介護を受けられる権利を守り、高齢者とその家族の生活を守ることが極めて重要です。第8期の保険料の上昇、2021年8月の補足給付見直しなどにより、介護保険へのアクセスはさらに困難になっています。担い手不足も根本的には、国の財政負担の在り方の問題と直結しています。

みやぎ県民フォーラム実行委員会では、高齢者の生活と権利、事業者・働き手への支援が図られるよう、2022年2月10日(木)提出『補足給付見直しの影響調査・介護保険制度の抜本見直しを求める要望書』に関し、担当部局との懇談会を行いました。

懇談では、補足給付見直しの影響調査実施、介護事業所への抗原検査キットの配布拡充など新型コロナウイルス感染症対策の支援等、要望に関する趣旨説明を行い、あわせて宮城厚生福祉会で取り組んだ「補足給付見直し緊急影響調査」の報告を行い懇談を深めました。

参加した事業者からも、感染リスクへの不安や人件費の問題など切実な介護現場の実態や意見が出されるなど、宮城県並びに仙台市の実効性のある施策の推進や支援を求めました。



宮城県との要請行動の様子



仙台市との要請行動の様子